

編集発行／
社会福祉法人
琴平町社会福祉協議会
仲多度郡琴平町榎井891-1
TEL 0877-75-1371
E-mail info@k-wel.or.jp
HP http://www.k-wel.or.jp

福祉 ことひら



2023

8



- 2
- 3
- 4
- 5 … 琴平社協法人化40年のあゆみを振り返る
- 6 … 地区ネット活動紹介
・こんびらアイネット ・榎井ハッピーネット
- 7 … 事務局通信 シアントセナ
- 8
- 9 … 事業計画・収支予算 事業報告・決算報告
- 10 … 令和4年度特別会員名簿 善意の寄付 収集ボランティア



今月の
特集

琴平社協法人化 40年のあゆみを振り返る

越智▶琴平は女性の働く町であるから子どもを預かってくれないと働けない。そういう意味で「あかね保育園」があったのは、たぶんみんなそうだったと思います。福祉って琴平ではそういうところではしかなかった。そんな中で社協を応援してくださるのは本当に稀であった。ボランティアといっても、なかなか分かりづらかったですよ。

横関▶私は、昼間に時間が空いていたら端切れや毛糸を持って行って手芸をしたりしていました。今、ここに並べられた昔の写真を振り返ってみると、故人になっっている人がたくさん写っていて胸がいっぱいになる。一緒にいろいろな活動をしていたことが懐かしい。「琴平老人の家」で作ってくれた会食用の食事…そこから食事サービスが始まりました。あの当時は、大勢来ていたんですね。

越智▶そうですね。特に食べることに関わる色々な活動を始めました。

横井▶私は、越智さんから「なんかこういつのするから手伝ってくれんの？」と言われたのが始まりで、ヘルパーになるとは思いませんでした。

その時はお弁当が大事でした。入れない家にも入れたから。あれ一つ持って訪問へ行く顔が違ってました。

越智▶「来るな！ほっといてくれ！」というところでもお弁当持って行くと、「ああ

良いな」と言っただけに入れてくれた。

まだお弁当をしていないとき、病院の先生に叱られたことがあります。高齢者を診察に連れて行くと、先生は「入院させ。1週間で大丈夫だ」と言うんです。栄養失調や日射病とか点滴したら良いということでした。そして医師から「社協か。福祉、福祉と偉そうに言うて、お前何ができるんや。独りでいる人が飯を食べてないじゃないか。そういうことをちゃんと手立てしていくのが福祉だろ。それを病気になるたら連れてくるのがお前の仕事か」と診察室のたくさんいる中で言われ、シヨックを受けました。

当時、食べられていたらみんな元気ですが、食べられてないのがいかにどうやってたら食べてもらえるか…。

その後「琴平老人の家」の施設長だった安部所長が「お年寄りのご飯は若い人のご飯とは違うぞ。今日が最後のご飯かもしれないぞ。お年寄りは他に楽しみがあるか？どこかへ遊びに行くや、金を使ってどうするや、ええもん着るんや言う事はしない。食べることだけがお年寄りにとつての楽しみや。そのつもりでお年寄りのご飯は考えないかん。」と言ってくれたことで、なおさら食べられるようにしなければと思えました。

その頃、行政の無料のサービスはありました。一人暮らしの人が20人くらいだったと思います。月に1・2回「琴平老人の家」に招待してそこでご飯を食べてもらう高齢者食事サービスでし

た。招待だから無料でしたが、無料のごはんを食べに、お年寄りが坂道をあがるのに、タフシーで通っていました。「福祉サービスを受けるのにタフシーで行くって、なにこれ…。」私が思うだけじゃなくて、安部所長も「これはおかしい…社協ができたんやから、老人福祉センターがあるんやから、そこで考え。手伝ってやる。70人の入所者やから70プラス最大20〜30くらいの食事やったら作ってやる。」と言っただけで調理をしてくれました。

この仕組みの中で利用が無料ではないかと思いました。無料で何かお世話になるといふのはないかと思ひ、だからと言っただけなら400円、500円というわけにはいかん。どれくらいかなと事務所まで話し、100円の利用料をもらおうと決めて、その100円と共同募金のお金を合わせて食事サービスを始めました。ただ100円や200円でできるものではありませんでした。お肉やお魚も入っていたので。そんな中、横井さんに手伝ってもらい婦人会の人たちにも配膳してもらったりして週に2回行いました。

横井▶火曜と金曜日。

越智▶週2回の会食サービスは1回20人でしたが、40人以上の希望があり班に分けるしかありませんでした。20人ずつ分けて、プロگرامを作り、婦人会の人たちにも手伝ってもらい、楽しく食べてもらう。「食べさせないかん」というのが社協の一番の取り組みでし

た。それとボランティアという活動。子どもたちにもボランティアとか、お年寄りとの交流、お手紙を書いてもらうようなこともしたと思います。



元 訪問介護員
宮武 君子さん

宮武▶愛宕町に明治生まれの85〜90歳くらいのお年寄りがいました。琴平の町で生まれて育って80年いたものだから「あそこのお店で仏さんのお花を買ってきてほしい、あそこの餅屋さんで餅、あそこの仏壇屋さんで線香、あそこの魚屋さんで、あそこの花、あの食パンを一斤、あそこの野菜屋さんできゅうりを2本買ってきて」と商店街から榎井の端まで自転車で走り公会堂の下に自転車を置いてそこから愛宕町までは歩いていく。雨の日も寒い雪の日も行った思い出があります。その時に大変な業務だと思ひながらも訪問した時に喜んでくれた笑顔が、私のヘルパーとして働く原点としてまだ思い出します。公会堂の消火栓のところに自転車を置いて叱られたことがありました。「火事になったらどうするんや」と苦情があり「あんたのこの職員は教育してないのか」と注意を受けました。それから地域のことをよく知らないとい

けないと思えました。地域の人にもヘルパーとして成長させてもらいました。

知的、精神障害者を家族が世話して、24時間大変だからと思つて商店街の中を歩いて社協へ連れて来ました。そこから、「えんがわ」が始まりました。その時に商店街の人が「〇〇さん社協へ行きませんか？」と声をかけてくれるようになり、毎日連れて来る中でだんだんと商店街の人が声をかけてくれるようになり、一人でどこでんの駅に行つてしまつたときに、近隣の方が目をかけてくれました。「ヘルパーが付いてないのに一人でフラフラ歩いているけど大丈夫か」と。毎日一緒に社協に連れて来ることによって、地域の人が「あの人はちょっと障害があるからちょっと気をつけてあげとかなあかんかな」とかの発見がありました。



家庭奉仕員時代からの訪問介護員

河村 しなゑさん

現在のシルバーの豊の部屋で預かり、次のヘルパーが帰ってくるまで見てくれたり、給食がきたら給食を食べたりと、そんなことが始まりで「えんがわくらぶ」を始めました。地域の人がヘルパーを知つてもらうために毎日、毎日、自転

車や歩きで高齢者や障害者を対応していました。

河村▶昔は、一日に1件か2件の訪問やった。宮武さんに変わった時が一番大変だったかもしれません。

宮武▶福祉や介護をまったく知らなかったが、河村さんにたくさん教えていただきました。

越智▶助産師、看護師だったり、琴平社協には専門職が集まつていて、身体介護もしていました。他の社協は生活支援しかしていませんでした。「買い物だけをしてくる」「掃除をする」という家庭奉仕員の活動でしたが、最初から介護が当たり前。嫁と姑の間に入ったこともありました。

宮武▶早朝と夜間と手分けして、象郷と琴平、夜の9時に薬を飲ませて寝る準備をして、朝までの水分補給をし、かかりつけの先生に「このようでも今終わりましたから」と連絡して、服薬を確認して帰つてくるという活動を制度とは関係なくしていました。一人暮らしなので朝の時にむつ交換、ご飯を食べてもらつてお薬を飲み水分補給のあとベッドメイキングをして…。その時の私達の自慢は寝たきりにさせないこと。朝起きたら洋服に着替えさそつ。そしたらお昼に外出するにもすぐ間に合う。

その後ヘルパーも増え20人くらいいました。アルコール依存症の人を病院

へ連れて行く際に、先生から「暴れる時に連れて来い」と言われ、数名で連れて行きました。飲んでる時は暴れる。「飲んだらいかんやろ」言うところを投げられたり。事務所から応援を呼んで、みんなで医療につないでいきました。先生と話したりとか。

介護保険が始まつて制度は充実しました。地域に自分も育てられました。退職して10年以上は経ちますが、今でも「宮武さんやな」と声をかけられ「親を看れたのはあなたたちのおかげです」とお礼を言ってくれる方がたくさんま

だいる。地域で私も育ちました。

越智▶地域の中で動いているから社協というものが見えてきました。ボランティアというと婦人会をはじめ自治会長も協力してくれました。なにもなかったもんね。職員多いといつても今みたいにはいないし。「ふれあいデー」も7月に賑やかにしているが、最初は「火曜会」の方が手伝つてくれて実施できました。「えんがわ」に来ているお年寄りに楽しい思いをしてもらおう。子どもたちと一緒にね。それを「火曜会」の人に話したら手伝うのにつて言ってくれました。

また、地域福祉懇談会を行うために「あかね保育園」を借りて、夜に懇談会もしましたね。

丸岡▶やりましたね。

越智▶夜「あかね保育園」にでばつて

いつて、ヘルパーの活動と一緒にいって行つて話を聞いたりしました。

サロンも横井さんが第一号を作り参加者も増えていきました。横井さんは婦人会の活動もするようになりヘルパーだけではなかつたじゃないですか。どうでしたか。



元 訪問介護員
横井 恭子さん

横井▶給食の手伝いに婦人会も入つていただいて、食生活改善推進協議会の会員でないといけないけど動ける人には入ってもらいました。榎井地区は人数も増えてたくさんの方が手伝いに来てくれました。

越智▶お弁当を持つて行つたら「あぁこれは良いわ」と受け取ってくれたり価値は大きかったです。「こんな人がおる」って相談があったらお弁当を持つて持つて行つてたね。

横井▶まずお弁当を作つて言つて、ぬくぬくを持つて行きました。

越智▶食べることは大事やなつて思つた。年忘れ会の際には、かす汁を作つていました。

丸岡◆なぜそのお弁当は人気があるんですかね。

越智◆「緑のお弁当」だそつです。よそのお弁当は天ぷらやフライが多く、ここは野菜が多く入ったお弁当です。

丸岡◆そうなんです。そうした活動が人が求めていた親のぬくもり、家庭のぬくもり、生活のぬくもりがそこに蘇ってくるんだね。弁当…緑の弁当。常に料理せん油物や欲しいと思つてた人と結びついてな。おふくろの懐か、親父の懐かしらんけどそういう家庭的な人間的なぬくもりの原点が弁当に凝縮されていたんだね。

そういう人との繋がりの大切さ、それで人と触れて、また、励みで修羅場を乗り越えられた。心にしみる触れ合いがあったのですね。

宮武◆困りごとついついの時代が来ても当たり前のごとすよね。社会福祉協議会で「いきいき愛」の活動をしているじゃないですか。それは「ミミ出じとかちよつとしたことのお手伝いとかで、あぁ、やっぱり昔と同じように、坂の上で買ひ物が困つたりとか、年がいつて「ミミも出せなかつたりちよつとしたこと」ができない。今もやっぱりみんな、高齢になれば困りごとつて同じことが繰り返されるのかなつて思います。制度だけではだめで、ちよつとした困りごとが社協の事業として展開されているというのは良いことではないかと思ひます。



元 五條愛育班
横関 壽眞子さん

横関◆私自身のことですが、認知症になつても住み慣れた家、住み慣れた町でヘルパーさんに来てもらいながら住めるかなと思つてます。子どもたちと話し合いをした時に「認知症でも介護保険使つて社協からヘルパーさんが来て住める人いるよ」つて話したら、子どもたちもそうするつて話になりました。周りをみても認知症の方はどこか施設へ入つた方が良いのではないかと思つても家でみてもらつてすこいなつていつも感心しています。

越智◆信頼関係ができるまでが大変です。ご本人が最後までいたいといつのならそれを支えるのが我々の仕事。「生きてる間を支えて後は知りません」というわけにはいかず最後の葬儀までを行う。場合によっては片づけも何もかも家族がいらないならしないといけないし、そんなことをしていくのが社協として今までしてこれたし、これからも必要性があるんだらつなと思ひます。

お弁当もみんなが大変やなつやとつうけど「自分が今度、利用する立場に

なつたときにこのサービスはいるんや」といふ言葉が印象的に残つています。自分たちがそういう立場になつたときに、「誰かのためにじゃなくて自分も含めて、やつぱりこつうことがなかつたらいかん」といふ気持ちで、みなさんが一緒に支えてくれる、一緒に作つている活動かなつて思ひます。

それが丸岡先生の言うぬくもり、人とのね。人とのつながりになるのでしょつね。お金があれば、お弁当を買えばいいが、そうじゃなく社協が来てくれるつていふ、つながりに触れ合つていふことなんでしょうね。

一人ひとりの人とつながつていふつり、困つてるところに手助けをしていく、声をかけ手伝つていく。そんなことができればいい。幸いなことに琴平は町が小さいから。大きかつたらつてもできない。島もないし、山が深いわけでもない。見える範囲で、今からも、していかなきやならない。

横関◆ヘルパーさんは何人くらいいらつしやるんですか。

越智◆今ですか。全部で11名です。以前のように夜間、早朝はありません。制度ができてお金がかかるようになり、そつう難しさがあります。

宮武◆あの時は制度がなかつたので自分で動けましたが、今は制度に縛られて、こつまでしてあげたいけどできないことが気の毒だと思ひます。時間な

んで関係ない。事務所に帰つたら「あんなどこ行つてたん？」と言われたこともよくありました。その時は「象郷まで自転車走つたら何分かかると思ふんや」つてよく言つていました。制度がない分、自由に動いていた。好きに動いていました。

今はもう個人情報で見られないだらうけど、独居名簿を見て、高齢者や障害者がいるところに自転車走つて声をかけていました。「この人ご飯食べていわ」「病院も行ってないわ」と連れて行つたり自由にしていました。訪問しても、もつともつとも思つても制度も必要だと思ふが、制度以外のことが社会福祉協議会には必要だと思ひます。

越智◆さあこれから社会福祉協議会は、今言つていただいたことを頑張つていくんですけど、これからもご支援をいただけるつていふことでよろしいでしょうか。丸岡先生どうですか。ご期待いただけるようにつ頑張りますけど。

丸岡◆強くお願いします。またお世話になります。

越智◆いろんな懐かしい話もできて、写真を見てもらつて、いろんな思い出になる話もできて、今日は暑い中来ていただいたありがとうございます。これからもよろしくお願ひいたします。

丸岡◆40周年おめでとつございします。

「第2回こんぴらにんにくフェスタ」を6月25日に開催しました。

町内の活気を取り戻せるようアイネットやこんぴら朝市のメンバーを中心に始めました。料理コンテストではたくさんの応募もいただき、当日はたくさんの方にご来場いただいて盛り上がる事が出来ました。メダカすくいやスーパーボールすくいなどの催し物、消防団様の協力を得てポンプ車の展示。またコトバスMX様の協賛を得て会場までのmobiの無料送迎を行いました。にんにく関連商品の販売など家族でも楽しめるイベントを目指しました。



町の賑わいが
戻って良かった

観光客も
寄ってくれて
良かった

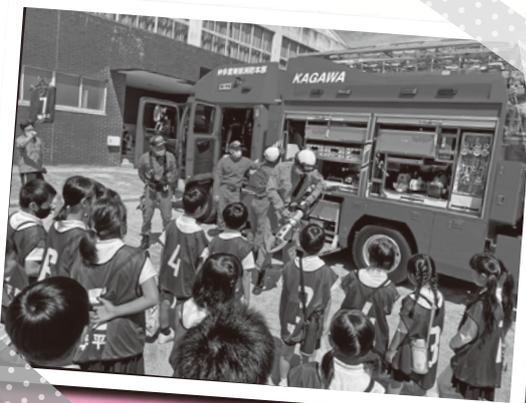
一之橋公園が
良かった!
賑わいの拠点に
なればいい

家族内での
お父さんのやさしさが
印象的だった



榎井
ハッピーネット

6/4 「第8回榎の木フェスタ」を開催しました!



コロナ禍の影響もある中での開催ではありましたが、榎井小学校区の町民の皆さん、榎井小学校在学中の殆どの子供たち、そして、ご父兄の皆さんが一堂に会して、楽しい時を過ごす事が出来ました。

もとより、『世代を超えて顔見知りになる』と言う壮大な企てに、挑戦し続けている状況ではありますが、「継続は力なり」という言葉を信じて、来年に繋げて行かなければなりません。

たった半日ではありますが、婦人会の皆さん、民生委員・福祉委員・燕石会の皆さん、近藤校長先生と教職員の皆さん、そして琴平社協の皆さんや地域の皆さんが、思いを一つにして作り上げた小さくて大きな『榎の木フェスタ』でありました。

すべての皆さんに感謝、そして、また来年!

豊嶋 浩三

シャントセナ (福祉ことひら合併号)

No.246 (令和5年8月号)

第1弾 権利を守るための講演会

テーマ

「遺言・相続と成年後見制度」

開催日時 令和5年8月29日(火)

14:00~15:30

開催場所 琴平町総合センター大ホール

講師 弁護士 福岡直也 氏

定員 60名

参加費 無料

申込先 琴平社協



このQRコードからも申込できます

訪問介護職員ヘルパーさん 募集中

仕事内容 調理・掃除・買物
入浴・排泄

勤務時間 8:00~18:00
(内30分から勤務可能)

勤務地 琴平町内

資格 介護福祉士
看護師
初任者研修
ヘルパー2級

70代のヘルパーさんも
子育て中のヘルパーさんも
和気あいあいの活動中



資格はあるけど働いたことがない方
資格はないけど介護に興味のある方
お気軽にご連絡ください

※詳細は、ハローワーク求人票などをご覧ください。

お問い合わせ ▶ 琴平町社会福祉協議会 (☎75-1371)

ステーション行事予定表 (8/13~9/16)

日	月	火	水	木	金	土
8/13	14	15	16	17	18	19
こんびら朝市 9:00~12:00 (予定)		・生きがいデイ (手芸)	弁護士相談	・生きがいデイ (高瀬天然温泉)		
20	21	22	23	24	25	26
		・生きがいデイ (手芸)		・生きがいデイ (体操)		
27	28	29	30	31	9/1	2
こんびら朝市 9:00~12:00 (予定)	上郡聖地区 地域福祉懇談会 14:00~15:00	・生きがいデイ (手芸)				
3	4	5	6	7	8	9
		・生きがいデイ (手芸) 西中・鹿中・東中 地域福祉懇談会 14:00~15:00		坂町・小松町・通 町・西山地区 地域福祉懇談会 14:00~15:00		
10	11	12	13	14	15	16
こんびら朝市 9:00~12:00 (予定)		・生きがいデイ (手芸) 下郡聖地区 地域福祉懇談会 14:00~15:00	阿波町地区 地域福祉懇談会 14:00~15:00	・生きがいデイ (体操) ・成年後見 相談会		

☆9月の弁護士相談(要予約)は9月20日(水)です。

ちよっとこ場行事予定表 (8/13~9/16)

日	月	火	水	木	金	土
8/13	14	15	16	17	18	19
		スマホ教室 15時~	ひだまりクラブ			
20	21	22	23	24	25	26
	NikoNiko (写経)		豊作会 (写経) 10時~			
27	28	29	30	31	9/1	2
			豊作会 (写経) 10時~			
3	4	5	6	7	8	9
	NikoNiko (写経)	スマホ教室 15時~	豊作会 (写経) 10時~			
10	11	12	13	14	15	16
			豊作会 (写経) 10時~			

ガリック娘ファミリーサイズ 8月から発売開始!



900g
3,850円



183g
1,350円

183gもよ
ろしくお願
いします。



注文QRコード

楽集館利用予定表 (8/13~9/16)

日	月	火	水	木	金	土
8/13	14	15	16	17	18	19
	予約済	包括 13時~16時	包括 9時~12時	楽集館開放 9:00~11:30		
20	21	22	23	24	25	26
	予約済		包括 13時~16時			
27	28	29	30	31	9/1	2
予約済	午前 予約済 午後 地域福祉 懇談会					
3	4	5	6	7	8	9
	予約済			楽集館あったか ネット 13:30~15:00		
10	11	12	13	14	15	16
	予約済	地域福祉懇談会 14:00~15:00				

令和5年度事業計画

コロナに対する考え方が変わり、今までできなかったことができる年になってきます。人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、支え合いながら暮らしていくことができる「地域共生社会」の実現に向けて、時代に合った地域福祉推進事業を図っていきます。

重点目標

- 包括的支援体制構築、行政と局内連携体制の構築
- 特例貸付免除対象者に向けたチームアプローチ
- 災害及び感染症対応体制の推進（BCPの策定）

事業内容

ささえあう・つながる

- 会費・日赤・共同募金
- ささえ愛こんびら
- 地区ネット活動
- 地域福祉懇談会の開催
- プラットフォーム事業
- 訪問介護
- 居宅介護支援
- 障害福祉サービス
- 農商工連携事業による中間就労支援 など

福祉総合相談

- まるっと安心サービス（地域生活総合支援サービス）
- 弁護士相談
- 生活困窮者自立支援事業
- 香川おもいやりネットワーク事業
- 生活福祉資金貸付事業
- 日常生活自立支援事業
- 成年後見事業
- 他機関連携・協働 など

災害時の体制整備

- 事業継続計画の策定
- 職員訓練の実施

集まる

- ひだまりクラブ
- ちょっとこ場
- 楽集館

食べる

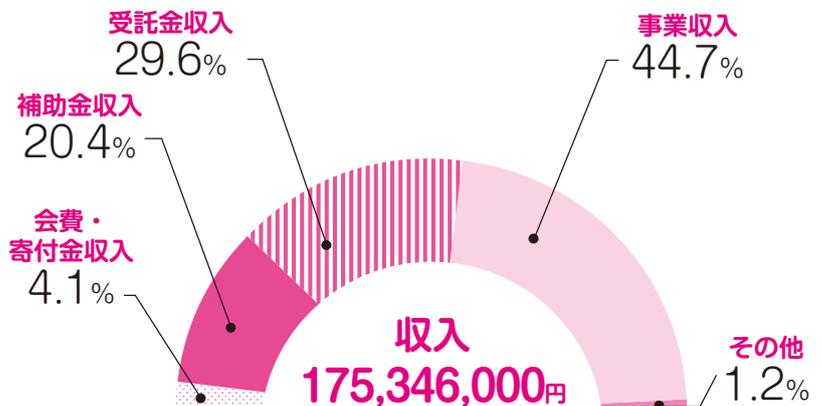
- 配食・会食サービス
- まちのキッチンもぐもぐ

学ぶ

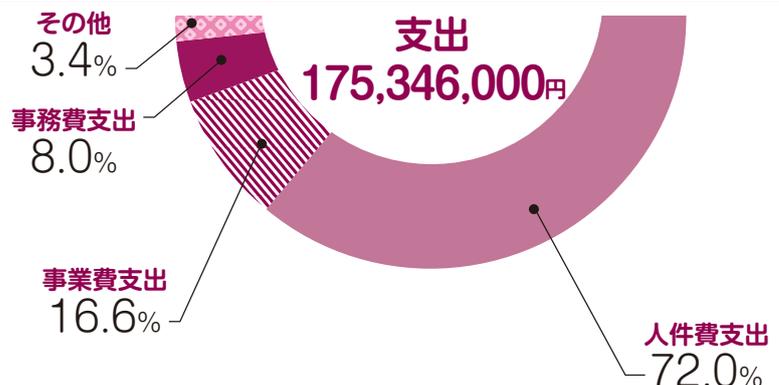
- 福祉教育、ボランティア学習
- 地域福祉を考える住民大会
- 四国地域福祉実践セミナー

令和5年度収支予算

収入科目	金額（円）
会費・寄付金収入	7,200,000
補助金収入	35,747,000
受託金収入	51,897,000
事業収入	78,410,000
その他	2,092,000
合計	175,346,000



支出科目	金額（円）
人件費支出	126,164,000
事業費支出	29,129,000
事務費支出	14,105,000
その他	5,948,000
合計	175,346,000



※事業計画・収支予算の詳細な内容は、琴平社協に冊子があり閲覧できます。

※小数点第2位以下は四捨五入しています。

令和4年度事業報告

令和4年度事業報告地域共生社会の実現に向けて、地域住民が地域の課題に向き合い、様々な活動が動き出しました。また、住民同士が支え合う活動である、住民参加型在宅福祉サービス「ささえ愛隊」の活動も徐々に活発化してきました。さらに、農商工連携事業で、中間就労の場を作り、ガリック娘に続く新たな商品開発に着手することができました。

①法人運営事業

②地域共生社会の実現に向けて地域福祉の推進

- 各地区ネット活動
 - ・ こんぴらアイネット
 - ・ 榎井ハッピーネット
 - ・ 五條互助ネット
 - ・ 楽集館あつたかネット
- ささえ愛こんぴら
 - ・ こんぴら朝市
 - ・ 買い物支援
 - ・ 住民参加型在宅福祉サービスささえ愛隊
- ひだまりクラブ活動支援
 - ・ アンケートの実施及び感染症対策
- 拠点運営（ちよつとこ場、楽集館他）
- 地域包括支援センター委託業務
- ボランティア活動の推進
- 住民活動の推進（プラットフォーム事業）
- 農商工連携事業



- 福祉教育・ボランティア学習
 - ・ 小学校への福祉の授業
- 各種相談支援事業
 - ・ 成年後見事業
 - ・ 生活困窮者自立支援事業 他

③介護・生活支援サービス

- ・ 居宅介護支援、訪問介護
- ・ 障害者福祉サービス

④赤い羽根共同募金

⑤収益事業

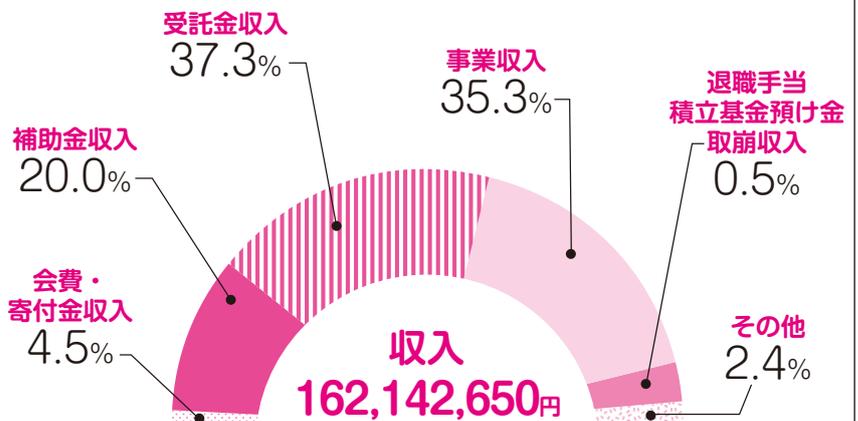
- ・ ガリック娘の販売

⑥公益事業

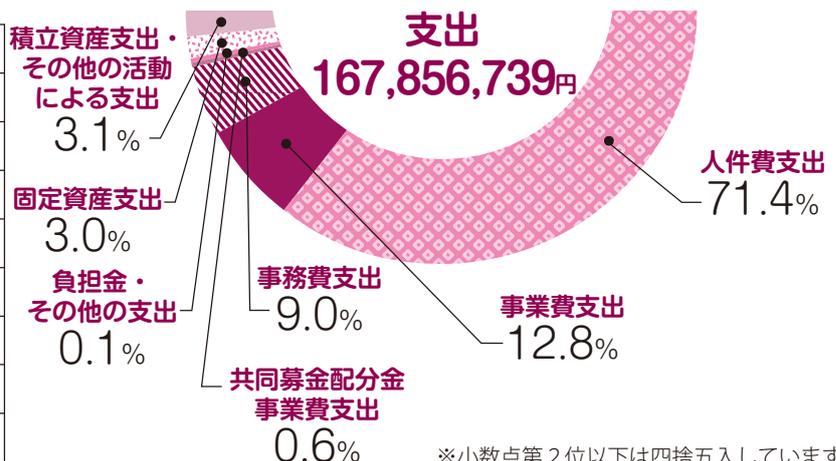
- ・ 地域生活総合支援サービス
- ・ まちのキッチン もぐもぐ

令和4年度決算報告

収入科目	金額（円）
会費・寄付金収入	7,360,614
補助金収入	32,349,286
受託金収入	60,446,613
事業収入	57,284,614
退職手当積立基金預け金取崩収入	867,377
その他	3,834,146
合計	162,142,650



支出科目	金額（円）
人件費支出	119,805,278
事業費支出	21,423,604
事務費支出	15,109,999
共同募金配分金事業費支出	1,062,885
負担金・その他の支出	241,178
固定資産支出	5,057,855
積立資産支出・その他の活動による支出	5,155,940
合計	167,856,739



※小数点第2位以下は四捨五入しています。

令和4年度 琴平町社会福祉協議会特別会員名簿

令和4年度に特別会員としてご協力いただき誠にありがとうございました。
今年度につきましてもご理解・ご協力くださいますようお願い申し上げます。 (五十音順・敬称略)

(株)アール・シー・エス	(医)圭良会 永生病院	(株)都村製作所
(医)愛徳会 池田内科医院	(株)弘栄社	つるや旅館
(福)あかね保育園	五条眼科医院	特別養護老人ホームクレールみどり
(株)秋山モータース	琴平花壇	とら丸旅館
(株)イケウチ電器	琴平グランドホテル	(株)中野屋
(株)イシカワ	琴平国際ホテル八千代	(株)にしきや
(株)魚長	琴平町商工会	西野金陵(株)
うつみ歯科医院	琴平塗装(株)	(有)西山食肉店
(医)大浦内科消化器科医院	(福)琴平福祉事業団 琴平老人の家	(有)野村船々堂
(有)大西化粧品店	金刀比羅宮	馬場法律事務所
小野薬局	サイクルショップミヤモト	百十四銀行琴平支店
(株)カガワオーエー	四国建設工業(株)	船岡建設(株)
香川銀行琴平支店	(株)四国通商	前田歯科医院
香川県信用組合琴平支店	(医)十全会 岩崎医院	(有)丸尾醸造所
香川日産自動車(株) 善通寺店	(医)尚和会 塩田歯科医院	(有)丸忠
香川県農業協同組合琴平支店	(有)杉屋電機商会	(有)宮武商店
かまど琴平店	(株)総合技建コンサルタント	(株)村井住宅設備
カメラのタオカ	高松信用金庫琴平支店	(有)森清掃社
(株)川上板金工業所	(有)竹内石油店	(株)藪下組
(有)紀の国屋本店	(医)たけお会 岩佐病院	山城金属(株)
(有)京兼電工社	田中屋	山西桂華堂
(医)慶昭会おおにし病院	中国銀行琴平支店	ワールド

善意の寄付

皆様からの善意の寄付は琴平町の地域福祉に有効に活用させていただきます。厚く御礼申し上げます。

令和5年3月1日～令和5年5月31日まで

一般寄付として

○匿名 様より	金一封	○匿名 様より	金一封
○匿名 様より	42,203円	○匿名 様より	100,000円
○匿名 様より	10,000円	○宮武君子 様より	金一封
○匿名 様より	984,493円		

香典返しとして

○匿名 様より	金一封
○匿名 様より	100,000円
○宮武君子 様より	金一封



使用済み切手・テレカ・入れ歯 収集ボランティア

令和5年3月1日～令和5年5月31日まで

使用済み切手・テレカ・入れ歯収集ボランティア・物品寄付にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

- | | | | |
|-------------|---|-------------|---|
| ●ことひらテラス | 様 | ●匿名 | 様 |
| ●岡田工業 | 様 | ●あかね保育園保護者会 | 様 |
| ●榎井婦人会 | 様 | ●(有)宮武商店 | 様 |
| ●(株)川上板金工業所 | 様 | ●大西良子 | 様 |
| ●南こども園 | 様 | ●中野うどん学校 | 様 |
| ●山地呉服店 | 様 | | |

広告

毎日元気が有り余ってませんか？

イキイキのシルバーライフをしっかりとサポート！まずは気軽にお電話ください。

入会説明会 11月20日(月) 13:30より 会場 琴平地区センター

3つの
“できる”

でイキイキの
シルバーライフ
(60歳以上)を実現！

“できる”
01

自分の得意不得意や経験、
ペースに合わせて
お仕事を選べます。

“できる”
02

無料の講習で
新たなスキル(技能)を身に
つけることができます。

“できる”
03

同好会・ボランティア活動
など新しい社会参加の
カタチがあります。

お問い合わせ 公益社団法人 善通寺/まんのう町/琴平町 仲善広域シルバー人材センター 〔琴平地区センター〕 TEL:0877-75-0277 香川県シルバー人材センター連合会 高齢者活躍人材確保育成事業